

<事例1>

- 【題材名】 第5学年 国語科「きいて、きいて、きいてみよう」
- 【内容】 Chromebook を使用して、話し合いの様子を記録して振り返りで活用する。
- 【使用アプリ】 Chromebook のカメラ
- 【事例紹介】 3〜4人のグループになり、「聞き手」「話し手」「記録者」の役割に分かれてインタビューをし合う。そのインタビューの時に、「記録者」が Chromebook のカメラを使用して動画を撮影する。インタビュー終了後、その動画を活用し、話し合いのポイントについて振り返りを行う。



話し合いの様子を Chromebook のカメラを使って記録する。



動画を見ながら、話し合いや「聞くこと」のポイントについて振り返る。

【解説】 話し合いの様子を動画で記録することで、自分たちの様子を客観的に分析することが可能になる。撮影した動画は必要に応じて静止でき、良いと思った発言やポイントなどを取り上げながら振り返られる点良かった。教師側が手本となる班の話し合いの様子を提示することで、話し合いや「聞くこと」のポイントについてより深く考えることができた。

<事例2>

- 【題材名】 第5学年 学級活動「地震が起こったときの行動～初期対応と二次対応～」
- 【内容】 Google スライドの共同編集機能を使用し、妻鳥小学校避難マニュアルを作成する。
- 【使用アプリ】 Google スライド、タブレットのカメラ、zoom
- 【事例紹介】 昼休みに地震が起こったことを想定し、自分たちの災害時の行動について視覚的に分かりやすく Google スライドを活用してまとめる。その後、自分たちが考えた災害時の行動マニュアルをグループで話し合う。また、各グループから出された意見を集約するために、スライドのコメント機能を活用し、より安全な避難経路や行動を考えるための手立てとした。



Google スライドにあるコメント機能を活用し、各班の改善策を記録、共有。



話し合われた改善策を活かして、より安全な避難経路や行動を再考する。



妻鳥小学校災害マニュアル

zoom を使って、鳴門教育大学の阪根先生と教室をつなぎ、防災の大切さやポイントについて話して頂いた。



初期対応

初期対応

コメント

